

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5659049号
(P5659049)

(45) 発行日 平成27年1月28日(2015.1.28)

(24) 登録日 平成26年12月5日(2014.12.5)

| | | | | | |
|----------------|-------------|------------------|---------|------|---|
| (51) Int.Cl. | | F I | | | |
| B 4 2 F | 5/04 | (2006.01) | B 4 2 F | 5/04 | A |
| B 4 2 F | 7/00 | (2006.01) | B 4 2 F | 7/00 | C |
| | | | B 4 2 F | 7/00 | E |

請求項の数 2 (全 17 頁)

| | | | |
|-----------|-------------------------------|-----------|------------------------------|
| (21) 出願番号 | 特願2011-46683 (P2011-46683) | (73) 特許権者 | 000115821 |
| (22) 出願日 | 平成23年3月3日(2011.3.3) | | 株式会社リヒトラブ |
| (65) 公開番号 | 特開2012-183662 (P2012-183662A) | | 大阪府大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 |
| (43) 公開日 | 平成24年9月27日(2012.9.27) | (74) 代理人 | 100079577 |
| 審査請求日 | 平成24年1月13日(2012.1.13) | | 弁理士 岡田 全啓 |
| | | (72) 発明者 | 田中 莞二 |
| | | | 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 株式会社リヒトラブ内 |
| | | 審査官 | 居島 一仁 |

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 見開き状クリアポケットファイル及びその製造方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

表紙体と、前記表紙体の中間領域で表紙体の内面に固着されたシート状ポケット群とを備えた、見開き状クリアポケットファイルであって、

表紙体は、合成樹脂シートからなる表表紙部と、裏表紙部と、前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部とを有し、

前記表表紙部及び裏表紙部は、表表紙部及び裏表紙部の高さ方向において上端から下端に亘って連続する直線状の表折り曲げ部及び裏折り曲げ部を介して、ほぼ直角に交差するように、背表紙部に連設され、

前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部は、その内側において、シート状ポケット群を構成する第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁を、溶着固定され、

シート状ポケット群は、複数のシート状ポケットにより構成され、

前記シート状ポケットは、背表紙部に固着された直線状部位から上の部位の間において、柔軟に形成され、

前記各シート状ポケットは、表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位と直交する底縁部、底縁部に相対する上縁部及び表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位に相対する側縁部を有し、表紙体の背表紙部に溶着するための溶着縁を備えた第1ポケット構成シートと、前記第1ポケット構成シートのA面側に設けられた第2ポケット構成シートと、前記第1ポケット構成シートのB面側に設けられた第3ポケット構成シ

ートとを備え、

前記第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートは、透明性を有し、開口縁を備え、

前記第1ポケット構成シートは、平面視方形状で、溶着縁と交差する底縁と溶着縁と交差する上縁と溶着縁と相対する側縁とを備え、

前記第2ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、

前記第3ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、

前記第1ポケット構成シートは、第1ポケット構成シートの底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁を溶着された表紙体の背表紙部に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの第2ポケット構成シートの開口縁と第3ポケット構成シートの開口縁とが対向して開口されるように、それぞれ単独で、隣接する第1ポケット構成シートとの間に間隔をおいて溶着縁のつき合わせ端縁にて表紙体の背表紙部に固着され、

10

前記第2ポケット構成シートと第3ポケット構成シートとは、一枚の長尺状樹脂シートからなり、幅方向における中間領域において、底縁から上縁にかけて折り返されて、対向するように構成され、第2ポケット構成シートと第3ポケット構成シートとの対向する面の間に第1ポケット構成シートを挟み込み、第1ポケット構成シート、第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートを、ポケット構成シートの底縁及び上縁を封止するように幅方向に溶着切断して、前記第2ポケット構成シートと第3ポケット構成シートとの間に挟まれた第1ポケット構成シートにおける底縁と交差し且つ溶着縁と相対する側縁に、第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートの折り返されて構成された側縁が並んで固定され、

20

前記第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートは、底縁及び上縁において、表紙体の背表紙部に溶着された溶着縁と交差する第1ポケット構成シートにおける底縁及び上縁と連続して封止されるとともに、底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁を溶着された表紙部に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの開口縁と対向して開口されるように形成され、

前記A面側の第2ポケット構成シートの開口部は、隣接するシート状ポケットのB面側の第3ポケット構成シートと近くに位置して対向し、第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体を、A面側シート状ポケットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、被挟体の幅方向における中央領域を隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させて、被挟体の折り曲げ部を隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのびるように、A面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとは、第1ポケット構成シートの溶着縁において表紙体の背表紙部に固着され、

30

第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体が、第2ポケット構成シートの開口縁及び第3ポケット構成シートの開口縁より第2ポケット構成シートの収容部及び第3ポケット構成シートの収容部に挿入され、被挟体をA面側シート状ポケットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、

40

表表紙部と裏表紙部とを開き、見開いた状態で、シート状ポケットの収容部及び収容部に挿入された被挟体を閲覧でき、

表表紙部と裏表紙部を閉じたとき、被挟体の幅方向における中央領域を、隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させ、被挟体の折り曲げ部が隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのび、見開いた状態でシート状ポケットのA面側の収容部及びB面側の収容部に挿入され、被挟体の中央に折り目を形成でき

50

る、見開き状クリアポケットファイル。

【請求項2】

表紙体と、前記表紙体の中間領域で表紙体の内面に固着された透明性を有するシート状ポケット群とを備えた、見開き状クリアポケットファイルの製造方法であって、

(一)表紙体は、合成樹脂シートからなる表表紙部と、裏表紙部と、前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部とを有し、

前記表表紙部及び裏表紙部は、表表紙部及び裏表紙部の高さ方向において上端から下端に亘って連続する直線状の表折り曲げ部及び裏折り曲げ部を介して、ほぼ直角に交差するように、背表紙部に連設され、

前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部は、その内側において、シート状ポケット群を構成する第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁を、溶着固定され、

シート状ポケット群は、複数のシート状ポケットにより構成され、

前記シート状ポケットは、背表紙部に固着された直線状部位から上の部位の間において、柔軟に形成され、

(二)シート状ポケット群を、下記(a)、(b)、(c)及び(d)の複数のシート状ポケットにより構成するために、

(a)前記各シート状ポケットは、表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位と直交する底縁部、底縁部に相対する上縁部及び表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位に相対する側縁部を有し、表紙に溶着するための溶着縁を備えた第1ポケット構成シートと、透明性を有し、開口縁を備えた、第2ポケット構成シートと、第3ポケット構成シートとを有し、

(b)第1ポケット構成シートは、平面視方形状で、溶着縁と交差する底縁と溶着縁と交差する上縁と溶着縁と相対する側縁とを備え、

(c)第2ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、

(d)第3ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、

(三)一枚の長尺状樹脂シートを折り返し、対向する第2ポケット構成シートと第3ポケット構成シートとを構成し、

(四)第2ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの対向する面の間に第1ポケット構成シートを挟み込み、ポケット構成シートの底縁及び上縁を封止するように、該第1ポケット構成シート、第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートを幅方向に溶着切断して、

第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートを、溶着縁と交差する第1ポケット構成シートにおける底縁及び上縁において、第1ポケット構成シートの底縁及び上縁と連続して封止するとともに、底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁を溶着された表紙体に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの第2ポケット構成シートの開口縁と第3ポケット構成シートの開口縁とが対向して開口されるように形成し、

(五)第1ポケット構成シートの底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁を溶着された表紙体の背表紙部に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの第2ポケット構成シートの開口縁と第3ポケット構成シートの開口縁とが対向して開口されるように、前記各シート状ポケットを構成する第1ポケット構成シートを、それぞれ単独で、表紙に溶着するための溶着縁のつき合わせ端縁により、隣接する第1ポケット構成シートとの間に間隔を置いて溶着縁のつき合わせ端縁にて表紙体の背表紙部に固着し、

(六)A面側の第2ポケット構成シートの開口部は、隣接するシート状ポケットのB面側の第3ポケット構成シートと近くに位置して対向し、第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体を、A面側シート状ポケ

10

20

30

40

50

ットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、被挟体の幅方向における中央領域を隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させて、被挟体の折り曲げ部を隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのびるように、A面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとは、第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁において表紙体の背表紙部に固着し、

(七) 第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体が、第2ポケット構成シートの開口縁及び第3ポケット構成シートの開口縁より第2ポケット構成シートの収容部及び第3ポケット構成シートの収容部に挿入され、被挟体をA面側シート状ポケットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、

10

表表紙部と裏表紙部とを開き、見開いた状態で、シート状ポケットの収容部及び収容部に挿入された被挟体を閲覧でき、

表表紙部と裏表紙部を閉じたとき、被挟体の幅方向における中央領域を、隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させ、被挟体の折り曲げ部が隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのび、見開いた状態でシート状ポケットのA面側の収容部及びB面側の収容部に挿入され、被挟体の中央に折り目を形成できる、見開き状クリアポケットファイルの製造方法。

【発明の詳細な説明】

20

【技術分野】

【0001】

この発明は、見開き状クリアポケットファイル及びその製造方法に関し、特に、たとえば、クリヤーブックなどの背表紙部の両側に表表紙部と裏表紙部が連設され、大きめサイズの書類などを見開いて見ることができるよう表表紙側と裏表紙側との間に跨って収納できる、透明ポケットが固着されたファイル及びその製造方法に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、透明のフィルムでポケットを形成した透明ポケットファイルがある。

それには、ポケットが表紙に溶着固定されたファイルにおいてポケットが見開いた状態で作られ、それを数枚重ねたものの中央部を、溶解して表紙の背部に溶着又は綴じ具に綴じることにより、ポケットを綴じたファイルがある(特許文献1及び2参照)。

30

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開平9-039458号公報

【特許文献2】特開2002-331784号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

40

特許文献1のファイルでは、そして、ポケット1枚1枚をそれぞれ表紙に融着したものであっても、ポケット枚数が増えるに従い、見開いた時、ポケットの厚み、書類の厚みにより見開きが中央にゆくに従ってフラットからどんどんカーブしていき、結果的に見開きが悪くなってしまふ。

表表紙部側と裏表紙部側との間に跨って挟み込まれた書類などに、本来の折り目と異なる折り目がついてしまふ。

また、特許文献2のファイルでは、ポケット1枚1枚が分割されていることにより、各ポケットが動いて特許文献1と同様の問題がある。

【0005】

それゆえに、この発明の主たる目的は、見開き状クリアポケットファイルを見開いた後

50

に閉じたときに被挟体に正確に折り目をつけることができる、見開き状クリアポケットファイルを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

この発明の請求項1にかかる見開き状クリアポケットファイルは、表紙体と、前記表紙体の中間領域で表紙体の内面に固着されたシート状ポケット群とを備えた、見開き状クリアポケットファイルであって、表紙体は、合成樹脂シートからなる表表紙部と、裏表紙部と、前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部とを有し、前記表表紙部及び裏表紙部は、表表紙部及び裏表紙部の高さ方向において上端から下端に亘って連続する直線状の表折り曲げ部及び裏折り曲げ部を介して、ほぼ直角に交差するように、背表紙部に連設され、前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部は、その内側において、シート状ポケット群を構成する第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁を、溶着固定され、シート状ポケット群は、複数のシート状ポケットにより構成され、前記シート状ポケットは、背表紙部に固着された直線状部位から上の部位の間において、柔軟に形成され、前記各シート状ポケットは、表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位と直交する底縁部、底縁部に相対する上縁部及び表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位に相対する側縁部を有し、表紙体の背表紙部に溶着するための溶着縁を備えた第1ポケット構成シートと、前記第1ポケット構成シートのA面側に設けられた第2ポケット構成シートと、前記第1ポケット構成シートのB面側に設けられた第3ポケット構成シートとを備え、前記第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートは、透明性を有し、開口縁を備え、前記第1ポケット構成シートは、平面視方形状で、溶着縁と交差する底縁と溶着縁と交差する上縁と溶着縁と相対する側縁とを備え、前記第2ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、前記第3ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、前記第1ポケット構成シートは、第1ポケット構成シートの底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁を溶着された表紙体の背表紙部に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの第2ポケット構成シートの開口縁と第3ポケット構成シートの開口縁とが対向して開口されるように、それぞれ単独で、隣接する第1ポケット構成シートとの間に間隔を

10

20

30

40

50

において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのびるように、A面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとは、第1ポケット構成シートの溶着縁において表紙体の背表紙部に固着され、第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体が、第2ポケット構成シートの開口縁及び第3ポケット構成シートの開口縁より第2ポケット構成シートの収容部及び第3ポケット構成シートの収容部に挿入され、被挟体をA面側シート状ポケットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、表表紙部と裏表紙部とを開き、見開いた状態で、シート状ポケットの収容部及び収容部に挿入された被挟体を閲覧でき、表表紙部と裏表紙部を閉じたとき、被挟体の幅方向における中央領域を、隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの間に位置させ、被挟体の折り曲げ部が隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのび、見開いた状態でシート状ポケットのA面側の収容部及びB面側の収容部に挿入され、被挟体の中央に折り目を形成できる、見開き状クリアポケットファイルである。

この発明の請求項2にかかる見開き状クリアポケットファイルの製造方法は、表紙体と、前記表紙体の中間領域で表紙体の内面に固着された透明性を有するシート状ポケット群とを備えた、見開き状クリアポケットファイルの製造方法であって、(一)表紙体は、合成樹脂シートからなる表表紙部と、裏表紙部と、前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部とを有し、前記表表紙部及び裏表紙部は、表表紙部及び裏表紙部の高さ方向において上端から下端に亘って連続する直線状の表折り曲げ部及び裏折り曲げ部を介して、ほぼ直角に交差するように、背表紙部に連設され、前記表表紙部と裏表紙部との間に連設された背表紙部は、その内側において、シート状ポケット群を構成する第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁を、溶着固定され、シート状ポケット群は、複数のシート状ポケットにより構成され、前記シート状ポケットは、背表紙部に固着された直線状部位から上の部位の間において、柔軟に形成され、(二)シート状ポケット群を、下記(a)、(b)、(c)及び(d)の複数のシート状ポケットにより構成するために、(a)前記各シート状ポケットは、表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位と直交する底縁部、底縁部に相対する上縁部及び表紙体の中間領域の背表紙部に固着された直線状部位に相対する側縁部を有し、表紙に溶着するための溶着縁を備えた第1ポケット構成シートと、透明性を有し、開口縁を備えた、第2ポケット構成シートと、第3ポケット構成シートとを有し、(b)第1ポケット構成シートは、平面視方形状で、溶着縁と交差する底縁と溶着縁と交差する上縁と溶着縁と相対する側縁とを備え、(c)第2ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、(d)第3ポケット構成シートは、平面視方形状であり、開口縁と交差する底縁及び該底縁と相対する上縁と、底縁及び上縁と交差する側縁とを備え、(三)一枚の長尺状樹脂シートを折り返し、対向する第2ポケット構成シートと第3ポケット構成シートとを構成し、(四)第2ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの対向する面の間に第1ポケット構成シートを挟み込み、ポケット構成シートの底縁及び上縁を封止するように、該第1ポケット構成シート、第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートを幅方向に溶着切断して、第2ポケット構成シート及び第3ポケット構成シートを、溶着縁と交差する第1ポケット構成シートにおける底縁及び上縁において、第1ポケット構成シートの底縁及び上縁と連続して封止するとともに、底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁を溶着された表紙体に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの第2ポケット構成シートの開口縁と第3ポケット構成シートの開口縁とが対向して開口されるように形成し、(五)第1ポケット構成シートの底縁と交差し且つ第1ポケット構成シートの溶着縁と並ぶ開口縁を、第1ポケット構成シートの溶着縁を溶着された表紙体の背表紙部に対向する位置で、隣接するシート状ポケットの第2ポケット構成シートの開口縁と第3ポケット構成シートの開口縁とが対向して開口されるように、前記各シート状ポケットを構成する第1ポケット構成シートを、それぞれ単独で、表紙に溶着するための溶着縁のつ

10

20

30

40

50

き合わせ端縁により、隣接する第1ポケット構成シートとの間に間隔をおいて溶着縁のつき合わせ端縁にて表紙体の背表紙部に固着し、(六) A面側の第2ポケット構成シートの開口部は、隣接するシート状ポケットのB面側の第3ポケット構成シートと近くに位置して対向し、第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体を、A面側シート状ポケットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、被挟体の幅方向における中央領域を隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させて、被挟体の折り曲げ部を隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのびるように、A面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとは、第1ポケット構成シートの溶着縁のつき合わせ端縁において表紙体の背表紙部に固着し、(七) 第1ポケット構成シートと第2ポケット構成シートとの間に形成された収容部に収容される被挟体が、第2ポケット構成シートの開口縁及び第3ポケット構成シートの開口縁より第2ポケット構成シートの収容部及び第3ポケット構成シートの収容部に挿入され、被挟体をA面側シート状ポケットの収容部とB面側のシート状ポケットの収容部に跨って収容され、表表紙部と裏表紙部とを開き、見開いた状態で、シート状ポケットの収容部及び収容部に挿入された被挟体を閲覧でき、表表紙部と裏表紙部を閉じたとき、被挟体の幅方向における中央領域を、隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させ、被挟体の折り曲げ部が隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのび、見開いた状態でシート状ポケットのA面側の収容部及びB面側の収容部に挿入され、被挟体の中央に折り目を形成できる、見開き状クリアポケットファイルの製造方法である。

【発明の効果】

【0007】

この発明によれば、被挟体の幅方向における中央領域を、隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間に位置させ、被挟体の折り曲げ部が隣接するA面側のシート状ポケットとB面側のシート状ポケットとの中間において高さ方向に第1ポケット構成シートの溶着縁に沿ってのび、見開いた状態でシート状ポケットの収容部に挿入されるように構成されているので、被挟体の中央に正確に折り目を形成できる。

【0008】

この発明の上述の目的、その他の目的、特徴及び利点は、図を参照して行う以下の発明を実施するための最良の形態の説明からいっそう明らかとなる。

この明細書及び特許請求の範囲において、ファイルの表紙の高さ、表紙の幅及び背幅は、一般的に用いられている表現を用いているが、念のために、図13において、表紙の高さをH、表紙の幅をW、背幅をTとして示す。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】この発明の一実施の形態であるポケットファイルの斜視図解図である。

【図2】図1図示ポケットファイルの開いた状態における断面図解図である。

【図3】図1図示ポケットファイルの開いた状態における断面図解図である。

【図4】図1図示ポケットファイルの閉じた状態における横断面図解図である。

【図5】図1図示ファイルの製法を示す斜視図解図である。

【図6】図1図示ファイルの製法を示す斜視図解図である。

【図7】図1図示ファイルの製法を示す斜視図解図である。

【図8】図1図示ファイルの製法を示す斜視図解図である。

【図9】図1図示ファイルの製法を示す斜視図解図である。

【図10】図1図示ファイルの製法を示す断面図解図であり、シート状ポケット群の準備状態を示す図である。

【図11】図1図示ファイルの製法を示す断面図解図であり、シート状ポケット群と連結体との連結方法を示す図である。

10

20

30

40

50

【図 1 2】図 1 図示ファイルの製法を示す断面図解図であり、シート状ポケット群と連結体との連結方法を示す図である

【図 1 3】この発明にかかるファイルの説明図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

図 1 は、この発明の一実施の形態である見開き状クリアポケットファイルの斜視図解図であり、図 2 は、図 1 図示見開き状クリアポケットファイルの開いた状態における斜視図解図である。図 3 は、図 1 図示見開き状クリアポケットファイルの閉じた状態における縦断面図解図である。

ファイル 10 は、見開き状クリアポケットファイルである。

10

ファイル 10 は、ポリプロピレン等の合成樹脂シートからなる表表紙部 12 と、裏表紙部 14 と、前記表表紙部 12 と裏表紙部 14 との間に連設された背表紙部 16 とを有する表紙体 18 と、シート状ポケット群 20 を構成する第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 において溶着されて連結されたシート状ポケット群 20 とを備えている。

【0011】

ファイル 10 は、前記表表紙部 12 と裏表紙部 14 との間に連設された背表紙部 16 の内側において、シート状ポケット群 20 を構成する第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 を、溶着固定されている。

【0012】

表表紙部 12 及び裏表紙部 14 は、表表紙部 12 及び裏表紙部 14 の高さ方向において上端から下端に亘って連続する直線状の表折り曲げ部 24 及び裏折り曲げ部 26 を介して、ほぼ直角に交差するように、背表紙部 16 に連設されている。

20

【0013】

前記シート状ポケット 22 は、背表紙部 16 に固着された直線状部位から上の部位の間において、柔軟に形成されている。

シート状ポケット 22 は、背表紙部 16 に固着された直線状部位と直交する底縁部 22a と底縁部 22a に相対する上縁部 22b 及び背表紙部 16 に固着された直線状部位に相対する側縁部 22c とを備えている。

【0014】

ファイル 10 は、表紙体 18 と、前記表紙体 18 の中間領域で表紙体 18 の内面に固着された透明性を有するシート状ポケット群 20 とを備えた、見開き状クリアポケットファイルであって、シート状ポケット群 20 は、複数のシート状ポケット 22 により構成されている。

30

【0015】

前記各シート状ポケット 22 は、表紙に溶着するための溶着縁 32 を備えた第 1 ポケット構成シート 30 と、開口縁 42 を備えた、透明性を有する第 2 ポケット構成シート 40 と、開口縁 52 を備えた、透明性を有する第 3 ポケット構成シート 50 とを有する。

第 2 ポケット構成シート 40 は、第 1 ポケット構成シート 30 を挟んで A 面（表紙）側に位置し、第 3 ポケット構成シート 50 は、第 1 ポケット構成シート 30 を挟んで B 面（表紙）側に位置している。

40

【0016】

第 1 ポケット構成シート 30 は、平面視方形状で、溶着縁 32 と交差する底縁 34 と溶着縁 32 と交差する上縁 36 と溶着縁 32 と相対する側縁 38 とを備える。

第 1 ポケット構成シート 30 は、それぞれ単独で、隣接する第 1 ポケット構成シート 30 との間で間隔をおいて、溶着縁 32 にて表紙体 18 に固着されている。

【0017】

第 2 ポケット構成シート 40 は、平面視方形状であり、開口縁 42 と交差する底縁 44 及び該底縁 44 と相対する上縁 46 と、底縁 44 及び上縁 46 と交差する側縁 48 とを備える。

第 2 ポケット構成シート 40 は、底縁 44 において、表紙に溶着された溶着縁 32 と交

50

差する第1ポケット構成シート30における底縁34と連続して封止されている。

底縁44と交差し且つ第1ポケット構成シート30の溶着縁32と並ぶ開口縁42は、第1ポケット構成シート30の溶着縁32を溶着された表紙体18に対向する位置で、隣接する第1ポケット構成シート30の第3ポケット構成シート50の開口縁52と対向して開口されるように形成されている。

【0018】

第3ポケット構成シート50は、平面視方形状であり、開口縁52と交差する底縁54及び該底縁54と相対する上縁56と、底縁54及び上縁56と交差する側縁58とを備える。

第3ポケット構成シート50は、底縁54において、表紙に溶着された溶着縁32と交差する第1ポケット構成シート30における底縁34と連続して封止されている。

10

底縁54と交差し且つ第1ポケット構成シート30の溶着縁32と並ぶ開口縁52は、第1ポケット構成シート30の溶着縁32を溶着された表紙体18に対向する位置で、隣接する第1ポケット構成シート30の第2ポケット構成シート40の開口縁42と対向して開口されるように形成されている。

【0019】

シート状ポケット22は、第1ポケット構成シート30のA面に設けられた第2ポケット構成シート40と、第1ポケット構成シート30のB面に設けられた第3ポケット構成シート50とを備え、第2ポケット構成シート40と第3ポケット構成シート50とは、一枚のシートからなり、幅方向における中間領域において、底縁44及び底縁54から上縁46及び上縁56にかけて折り返されたもので構成されている。

20

第2ポケット構成シート40と第3ポケット構成シート50との間に挟まれた第1ポケット構成シート30における底縁34と交差し溶着縁32と相対する第1ポケット構成シート30の側縁38に、第2ポケット構成シート40及び第3ポケット構成シート50を折り返されて構成された第2ポケット構成シート40の側縁48及び第3ポケット構成シート50の側縁58が並んで固定されている。

【0020】

第2ポケット構成シート40と第3ポケット構成シート50とは、図5に示すように、一枚の長尺状樹脂シートを折り返されて、対向するように構成され、第2ポケット構成シート40と第2ポケット構成シート40との対向する面の間に第1ポケット構成シート30を挟み込み、第1ポケット構成シート30、第2ポケット構成シート40及び第3ポケット構成シート50を幅方向に溶着切断して、ポケットシートの底縁34、底縁44及び底縁54並びに上縁36、上縁46及び上縁56を封止するように形成されている。

30

もっとも、第2ポケット構成シート40と第3ポケット構成シート50とは、図8及び図9に示すように、一枚の樹脂シートを折り返されて、対向するように構成され、第2ポケット構成シート40と第2ポケット構成シート40との対向する面の間に第1ポケット構成シート30を挟み込み、第1ポケット構成シート30、第2ポケット構成シート40の開口縁42及び第3ポケット構成シート50の開口縁52を除く、底縁44及び底縁54と第1ポケット構成シート30の底縁34とを溶着し、上縁46及び上縁56と第1ポケット構成シート30の上縁36とを溶着して、ポケットシートの底縁34、底縁44及び底縁54並びに上縁36、上縁46及び上縁56を封止するように形成されてもよい。

40

【0021】

この実施の形態においては、シート状ポケット22は、底縁部22aが底縁34、底縁44及び底縁54で構成され、上縁部22bが上縁36、上縁46及び上縁56で構成され、側縁部22cが側縁38、側縁48及び側縁58で構成されている。

【0022】

A面側の第2ポケット構成シート40の開口部は、隣接するシート状ポケット22のB面側の第3ポケット構成シート50と近くに位置して対向し、第1ポケット構成シート30と第2ポケット構成シート40との間に形成された収容部80に収容される被挟体Sを、A面側シート状ポケット22の収容部80とB面側のシート状ポケット22の収容部8

50

0 に跨って収容され、被挟体 S の幅方向における中央領域を、隣接する A 面側のシート状ポケット 2 2 と B 面側のシート状ポケット 2 2 との中間に位置させる。

そして、被挟体 S の折り曲げ部 S₁ が隣接する A 面側のシート状ポケット 2 2 と B 面側のシート状ポケット 2 2 との中間において高さ方向に第 1 ポケット構成シート 3 0 の溶着縁 3 2 に沿ってのびるように、A 面側のシート状ポケット 2 2 と B 面側のシート状ポケット 2 2 とは、第 1 ポケット構成シート 3 0 の溶着縁 3 2 において表紙体 1 8 に固着されている。

【 0 0 2 3 】

次に、この発明にかかる見開き状クリアポケットファイルの製造方法について、主として図 5 ないし図 9 に基づいて説明する。

まず、表紙体 1 8 と、前記表紙体 1 8 の中間領域で表紙体 1 8 の内面に固着された透明性を有するシート状ポケット群 2 0 とを準備する。

【 0 0 2 4 】

シート状ポケット群 2 0 を、複数のシート状ポケット 2 2 により構成するために、前記各シート状ポケット 2 2 は、表紙に溶着するための溶着縁 3 2 を備えた第 1 ポケット構成シート 3 0 と、開口縁 4 2 を備えた、透明性を有する第 2 ポケット構成シート 4 0 と、開口縁 5 2 を備えた、透明性を有する第 3 ポケット構成シート 5 0 とを準備する。

そして、第 2 ポケット構成シート 4 0 及び第 3 ポケット構成シート 5 0 を、開口縁 4 2 及び開口縁 5 2 と交差する底縁 4 4 及び底縁 5 4 において、表紙に溶着される溶着縁 3 2 と交差する第 1 ポケット構成シート 3 0 の底縁 3 4 と接続して封止するとともに、開口縁 4 2 及び開口縁 5 2 と交差する上縁 4 6 及び上縁 5 6 において、表紙に溶着される溶着縁 3 2 と交差する第 1 ポケット構成シート 3 0 の上縁 3 6 と接続して封止する。

【 0 0 2 5 】

次に、底縁 4 4 と交差し且つ第 1 ポケット構成シート 3 0 の溶着縁 3 2 と並ぶ開口縁 4 2 を、第 1 ポケット構成シート 3 0 の溶着縁 3 2 と溶着された表紙体 1 8 に対向する位置で、シート状ポケット 2 2 の第 3 ポケット構成シート 5 0 の開口縁 5 2 と隣接するシート状ポケット 2 2 の第 2 ポケット構成シート 4 0 の開口縁 4 2 と対向して開口されるように、前記各シート状ポケット 2 2 を構成する第 1 ポケット構成シート 3 0 を、それぞれ単独で、表紙に溶着するための溶着縁 3 2 により、隣接する第 1 ポケット構成シート 3 0 との間に間隔を置いて溶着縁 3 2 にて表紙体 1 8 に固着する。

【 0 0 2 6 】

更に、底縁 3 4 と交差し且つ第 1 ポケット構成シート 3 0 の溶着縁 3 2 と並ぶ開口縁 4 2 を、第 1 ポケット構成シート 3 0 の溶着縁 3 2 を溶着された表紙体 1 8 に対向する位置で、シート状ポケット 2 2 の第 3 ポケット構成シート 5 0 の開口縁 5 2 と隣接するシート状ポケット 2 2 の第 2 ポケット構成シート 4 0 の開口縁 4 2 と対向して開口されるように、表紙に溶着するための溶着縁 3 2 により、隣接する第 1 ポケット構成シート 3 0 との間に間隔を置いて溶着縁 3 2 にて表紙体 1 8 に固着する。

【 0 0 2 7 】

第 2 ポケット構成シート 4 0 と第 3 ポケット構成シート 5 0 とは、図 5 において示すように、一枚の長尺状樹脂シートを折り返し、対向するように構成し、第 2 ポケット構成シート 4 0 と第 3 ポケット構成シート 5 0 との対向する面の間に第 1 ポケット構成シート 3 0 を挟み込み、第 1 ポケット構成シート 3 0、第 2 ポケット構成シート 4 0 及び第 3 ポケット構成シート 5 0 を幅方向に溶着切断して、シート状ポケット 2 2 の底縁 3 4、底縁 4 4 及び底縁 5 4 並びに上縁 3 6、上縁 4 6 及び上縁 5 6 を封止するように形成する。

【 0 0 2 8 】

次に、本発明にかかるシート状ポケット 2 2 を表紙体 1 8 に溶着する製法について、図 1 0 ないし図 1 2 に基づいて説明する。

【 0 0 2 9 】

製本装置 1 0 0 0 は、図 1 0 に示すように、多数枚のシート状ポケット 2 2 を保持するシート状ポケット保持機構 1 0 0 2 と、表紙体 1 8 を保持する表紙体用保持機構 1 0 0 4

10

20

30

40

50

と、発熱体 1006 (H) と、この発熱体 1006 (H) をシート状ポケット 22 と表紙体 18 との間に介在または抜き出し可能とするシリンダ機構 (図示せず) とを備えている。

【0030】

シート状ポケット保持機構 1002 は、テーブル 1010 に固定のシート状ポケット押圧部 1008 と、図示しないねじやピストン等の駆動手段でテーブル 1010 上を可動する可動シート状ポケット押圧部 1012 と、固定のシート状ポケット押圧部 1008 と可動シート状ポケット押圧部 1012 とによってシート状ポケット 22 をクランプするように構成されている。

【0031】

また、表紙体用保持機構 1004 は、表紙体 18 の内面を下向きにして取り付け可能に構成されたものであり、図示しない昇降手段により上下動可能に構成されている。

【0032】

発熱体 1006 (H) は、内部にシーズヒータ等が内蔵された板状のものであるが、発熱体 1006 (H) はこれに限らず、熱エネルギーを放出可能な種々の手段が考えられる。

【0033】

前記の製本装置 1000 を使用してファイルを製本する方法について説明する。

まず、図 10 に示すように、多数枚のシート状ポケット 22 を重合し、その重なり端面を固定のシート状ポケット押圧部 1008 と可動シート状ポケット押圧部 1012 とでクランプし、且つ、表紙体用保持機構 1004 により、表紙体 18 の内面を下側にした状態で、表紙体 18 を保持し、表紙体用保持機構 1004 を下降させてシート状ポケット群 20 の溶着縁 32 の上面と表紙体 18 の内面とを対向させるとともに、その間に発熱体 1006 (H) を介在させることができる位置まで接近させる。

そして、発熱体 1006 (H) を両者の間に介在させ、表紙体 18 の内面と第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 の上部のつき合せ端縁とを同時に熔融させる。

【0034】

その熔融温度は、ポリプロピレンの熔融温度が、120 ~ 130 であるため、170 ~ 180 前後の発熱体 1006 を使用して 4 ~ 5 秒前後の時間で、表紙体 18 の内面と第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 の上縁のつき合せ端縁とを同時に熔融させる。

その後、表紙体 18 と溶着縁 32 との間から発熱体 1006 (H) を引き抜き、背表紙部 16 を第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 に接触させて両者を接合する (図 12 参照)。

【0035】

そして、適宜、溶着部位を冷却して、完全に表紙体 18 の背表紙部 16 の内面と第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 のつき合せ端縁とを固着する。

【0036】

実際の使用においては、第 1 ポケット構成シート 30 と第 2 ポケット構成シート 40 との間に形成された収容部 80 に収容される被挟体 S を、第 2 ポケット構成シート 40 の開口縁 42 及び第 3 ポケット構成シート 50 の開口縁 52 より第 2 ポケット構成シート 40 の収容部 80 及び第 3 ポケット構成シート 50 の収容部 82 に挿入し、被挟体 S を A 面側シート状ポケット 22 の収容部 80 と B 面側のシート状ポケット 22 の収容部 82 に跨って収容する。

而して、表紙部 12 と裏表紙部 14 とを開き、見開いた状態で、シート状ポケット 22 の収容部 80 及び収容部 82 に挿入された被挟体 S を閲覧できる。

そして、表紙部 12 と裏表紙部 14 を閉じたときは、被挟体 S の幅方向における中央領域を、隣接する A 面側のシート状ポケット 22 と B 面側のシート状ポケット 22 との中間に位置させ、被挟体 S の折り曲げ部 S₁ が隣接する A 面側のシート状ポケット 22 と B 面側のシート状ポケット 22 との中間において高さ方向に第 1 ポケット構成シート 30 の溶着縁 32 に沿ってのび、見開いた状態でシート状ポケット 22 の収容部 80 及び収容部

10

20

30

40

50

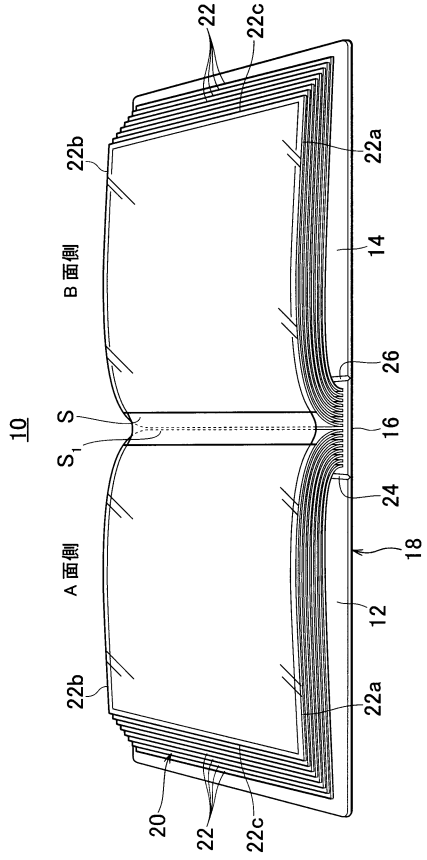
8 2 に挿入されるように構成されているので、被挟体 S の中央に正確に折り目を形成できる。

【符号の説明】

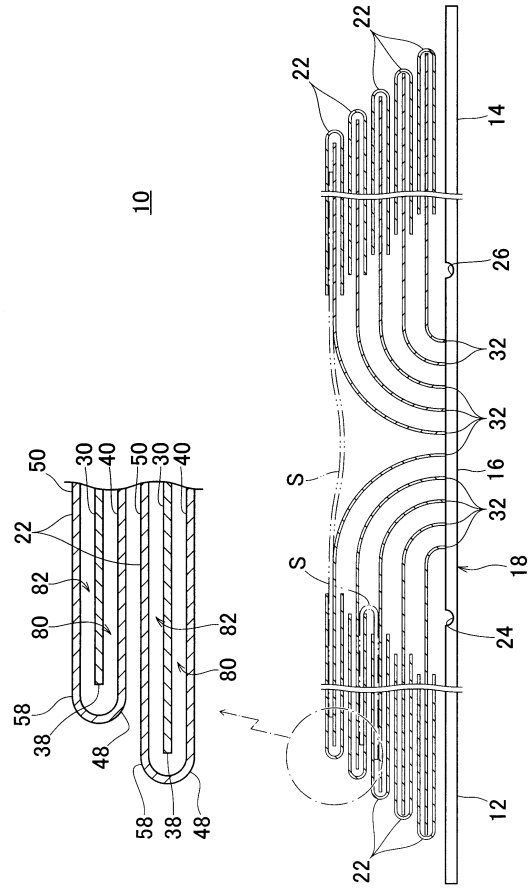
【 0 0 3 7 】

| | | |
|----------------|---------------|----|
| 1 0 | ファイル | |
| 1 2 | 表表紙部 | |
| 1 4 | 裏表紙部 | |
| 1 6 | 背表紙部 | |
| 1 8 | 表紙体 | |
| 2 0 | シート状ポケット群 | 10 |
| 2 2 | シート状ポケット | |
| 2 2 a | 底縁部 | |
| 2 2 b | 上縁部 | |
| 2 2 c | 側縁部 | |
| 2 4 | 表折り曲げ部 | |
| 2 6 | 裏折り曲げ部 | |
| 3 0 | 第 1 ポケット構成シート | |
| 3 2 | 溶着縁 | |
| 3 4 | 底縁 | |
| 3 6 | 上縁 | 20 |
| 3 8 | 側縁 | |
| 4 0 | 第 2 ポケット構成シート | |
| 4 2 | 開口縁 | |
| 4 4 | 底縁 | |
| 4 6 | 上縁 | |
| 4 8 | 側縁 | |
| 5 0 | 第 3 ポケット構成シート | |
| 5 2 | 開口縁 | |
| 5 4 | 底縁 | |
| 5 6 | 上縁 | 30 |
| 5 8 | 側縁 | |
| 8 0 | 収容部 | |
| 8 2 | 収容部 | |
| 1 0 0 0 | 製本装置 | |
| 1 0 0 2 | シート状ポケット保持機構 | |
| 1 0 0 4 | 表紙体用保持機構 | |
| 1 0 0 6 | 発熱体 | |
| 1 0 0 8 | シート状ポケット押圧部 | |
| 1 0 1 0 | テーブル | |
| 1 0 1 2 | 可動シート状ポケット押圧部 | 40 |
| S | 被挟体 | |
| S ₁ | 折り曲げ部 | |

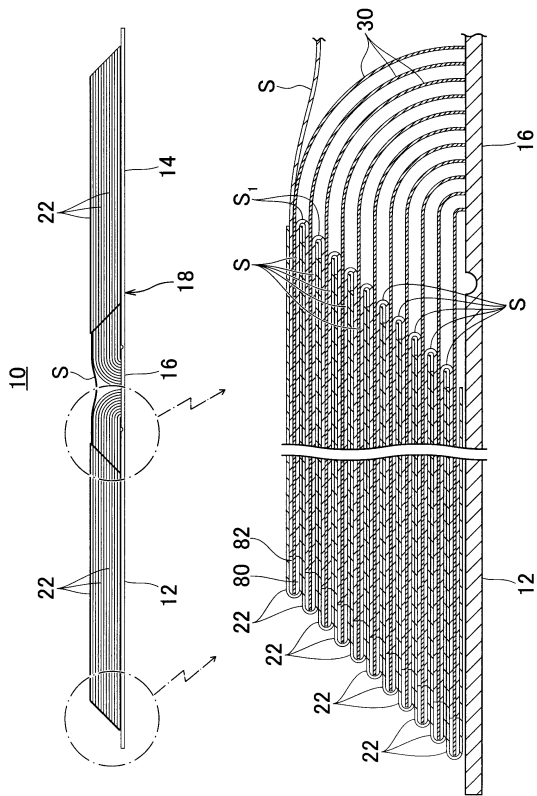
【 図 1 】



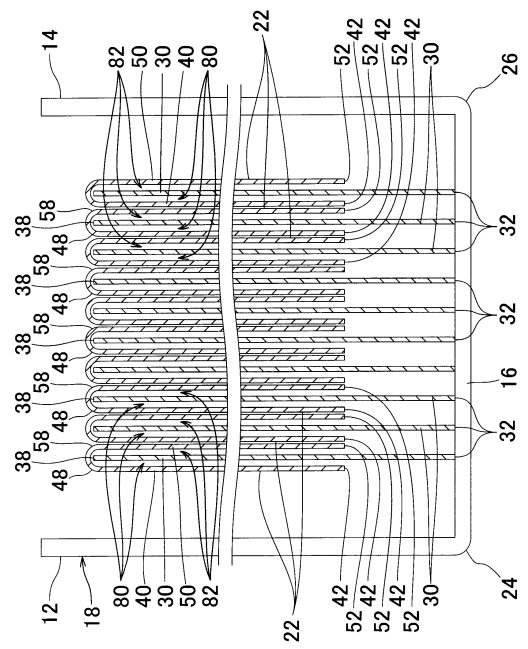
【 図 2 】



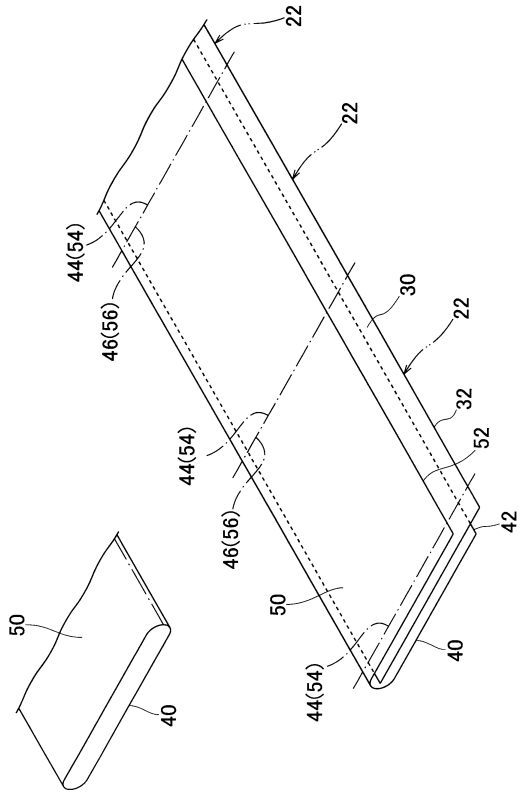
【 図 3 】



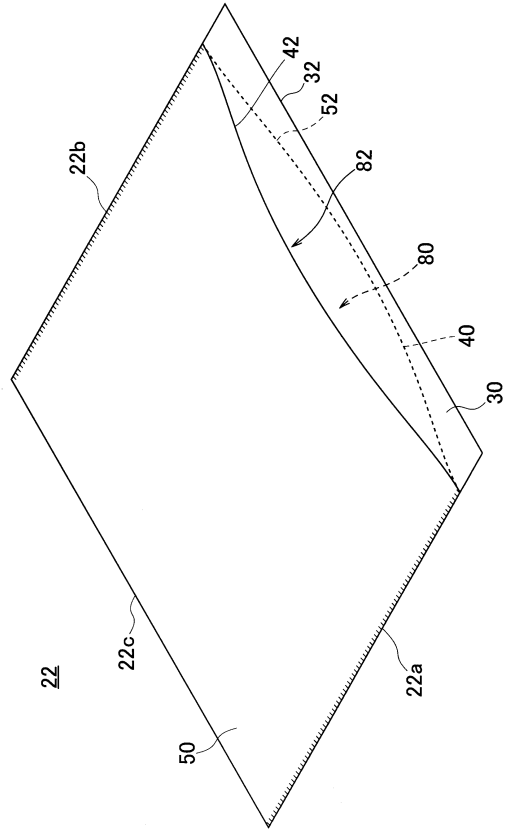
【 図 4 】



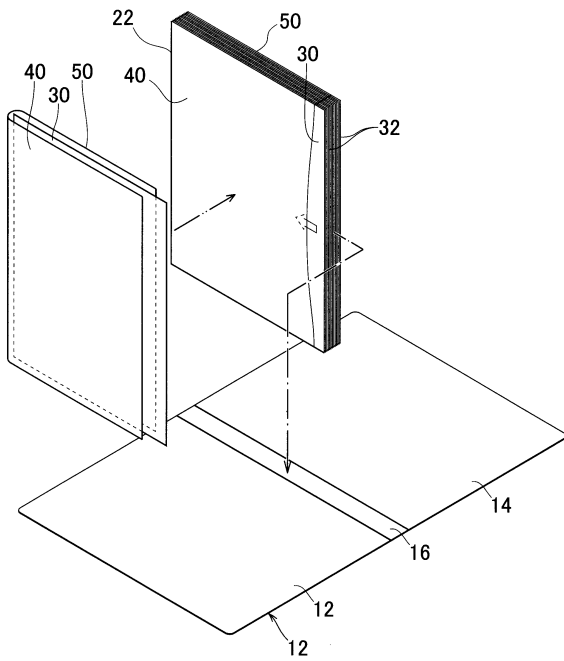
【 図 5 】



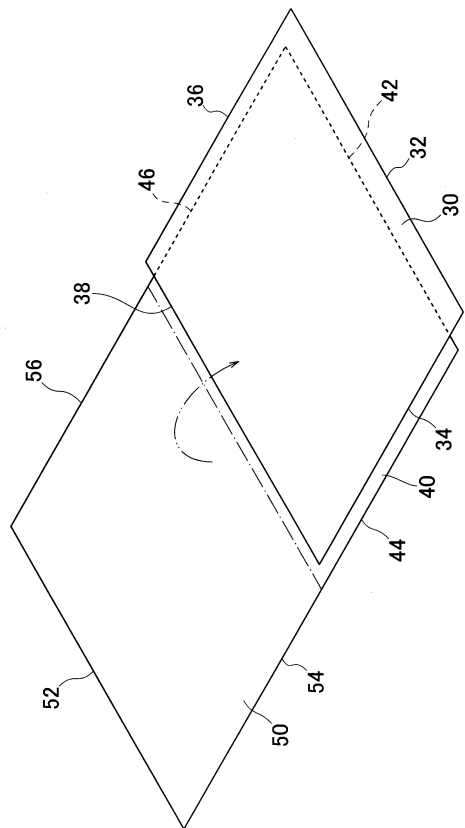
【 図 6 】



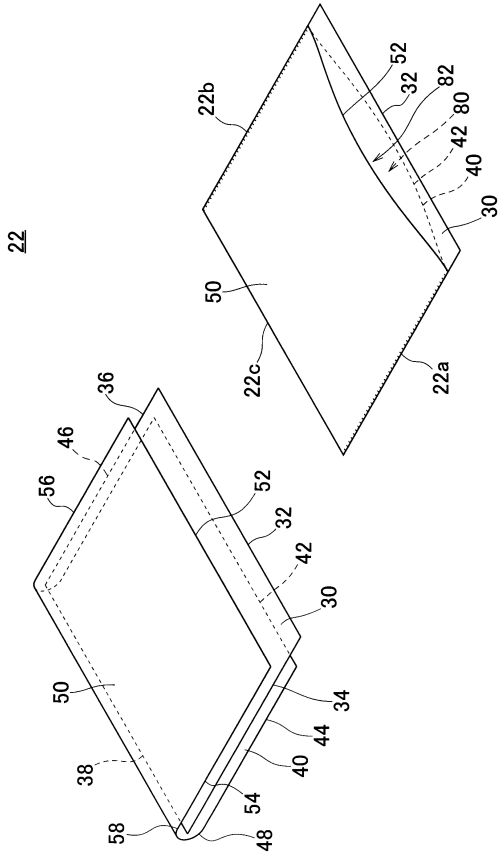
【 図 7 】



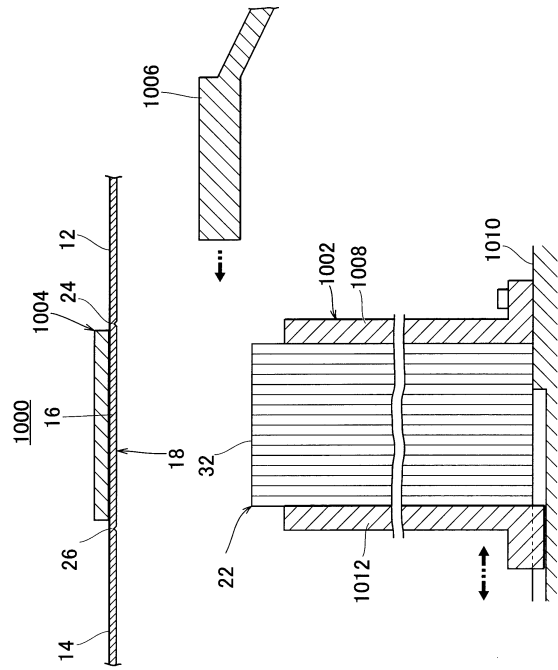
【 図 8 】



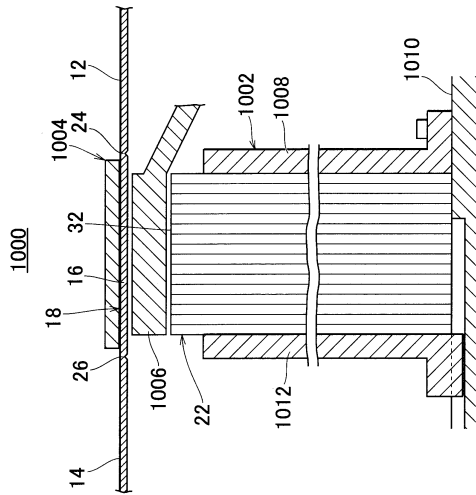
【 図 9 】



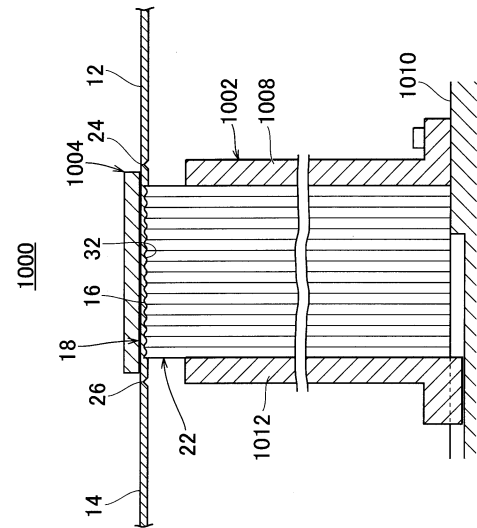
【 図 10 】



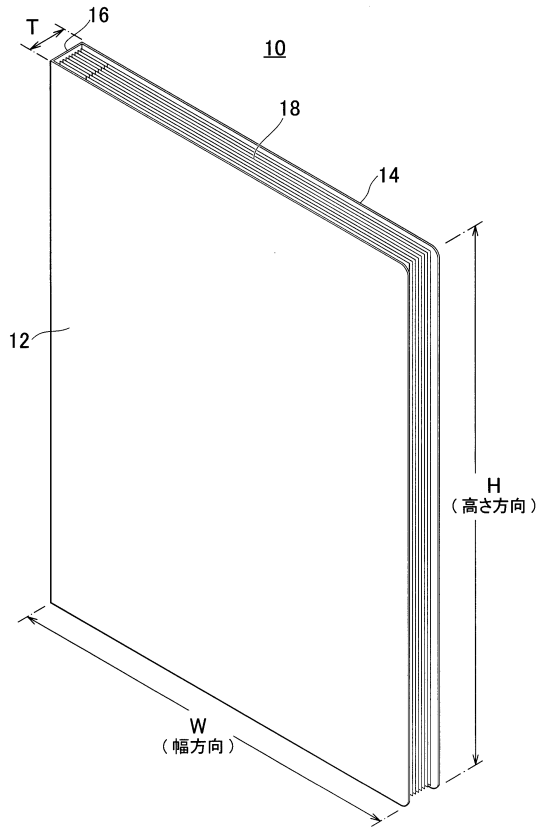
【 図 11 】



【 図 12 】



【図 13】



フロントページの続き

- (56)参考文献 実開平06 - 081776 (JP, U)
実開平59 - 053981 (JP, U)
登録実用新案第3139131 (JP, U)
特開平7 - 329472 (JP, A)
特開平2 - 265798 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
B42F1/00 - 23/00